編集後記　あのモミジの木のように



アヴニール労務事務所 所長柿野元博
http://www.avenir-sr.jp
E-Mail avenir4you@gmail.com





遅ればせながらタンスの私服を冬服に衣替えしたときのこと。

ありゃりゃ。冬物のズボンがどれもキツいー。
さては全部縮んでるのかな。(O_O)
やっぱり太ったかな。
マズイ・・・。なにしろこれから宴会が目白押し。これからが太る季節。
それに久しぶりの大学の同窓会や高校の同窓生との忘年会もあるし。
あの悪友連中に、また太ったといじられる。
普段、ハゲといじってる 35 年来の友人から逆襲される。(>_<)

どうしようかと悩んだあげく、、、とりあえずズボンを買いに行きました。
だって、このままじゃ宴会に出ても食べられませんからね。σ(^_^;)

家族は僕に健康で長生きする為に少し痩せろと言います。
確かにそうなのはわかってるけど、付き合いもあってなかなか難しいんですよね。
いやそれも言い訳だってこともわかってるんですけど。。

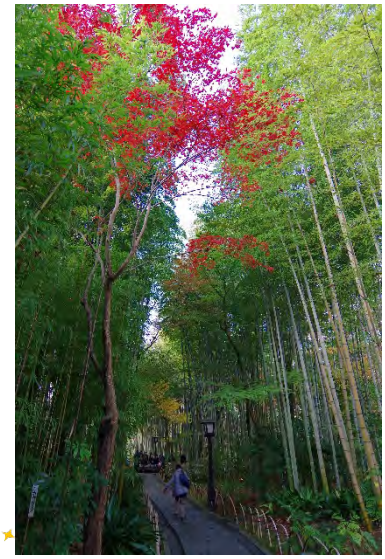


12 月 19 日、内閣府は、2030 年にかけて 20～30 代が約 2 割減ることで働き手が不足し、日本で低成長が定常化するという分析をまとめました。同時に高齢者の定義を 70 歳以上に引き上げることを提案しました。
また厚生労働省は、高年齢者の安定した雇用の確保のため、65 歳以上への定年の引上げ、定年の定めの廃止等の措置を実施した事業主に対して助成金を支給することを急遽発表しました。
自民党の小泉進次郎氏ら若手議員でつくる「2020 年以降の経済財政構想小委員会」は、高齢者の就労を促すため、働く高齢者への年金の支給額を減らす在職老齢年金制度の廃止を訴えています。
増え続ける高齢者の医療費。国民 1 人当たりの平均医療費は生涯で約 2600 万円。しかし 70 歳以上がその半分を占めその抑制が大きな課題です。働くことが健康長寿の素という意見も厚労省には根強くあります。



今の日本は、歳をとっても働けるのなら働けよというメッセージに溢れています。
この一連の流れが行きつく所は、年金の受給年齢の引き上げでしょう。
僕たちは元気でいなければなりません。

先頃訪れた、静岡の伊豆修善寺の竹林の小径（こみち）に竹に混じってモミジの木がありました。
竹林の青の中にモミジの紅（あか）。
どこか攻撃的な直線の笹の中に でこぼこ葉っぱのモミジ。
まっすぐ上に伸びたモミジは、きっと手入れもされているのでしょう。
竹林の風景の調和を崩さずに、それでいてこの季節に鮮やかな存在感。
「自立」と「協調」の美しいバランスがそこにありました。



娘が一緒でした。親戚も友人もいないこの静岡で、この春から働いています。
不意にモミジの木が娘の姿と被って、このモミジのような人になりなさいって言いそうになって・・・・、でも思い止まりました。
やめたのは「山村紅葉」さんを思い出したから。（山村さんごめんなさい m(_)m）
だって気の毒に娘は僕に似て体型が少し丸いんです。あはは。(+_+)

ま、お前（娘）も元気で頑張れ。
このモミジの木のようにネ。
もちろん僕（父）も負けないように、まだまだ元気で頑張るからね。
そいでもって、ちと痩せてみよかな。



娘に怒られないように僕は心の中で言いました。